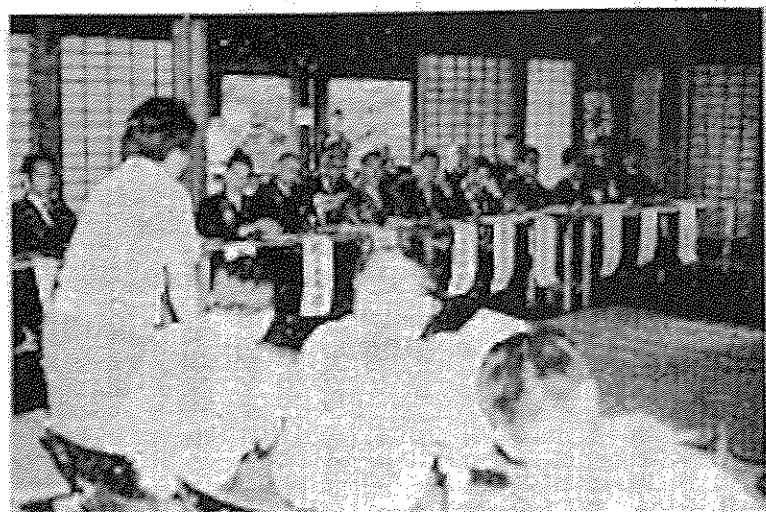


しかし、その2年後の1987(昭和62)年7月、第15回真宗同朋会推進全国集會において、訓覇信雄元宗務総長が差別性をもった講演を行った。全推協叢書「同朋社会の顕現」差別事件<sup>5</sup>である。



1969(昭和44)年8月25日、難波別院輪番差別事件第1回糾弾会(『解放新聞』1969年9月5日付)

同朋会運動の提唱者であり、教団の両面にわたって常に指導者的立場にあり、難波別院輪番差別事件のときの宗務総長として、2回目

の差別発言事件について検証する。また「点描」は、前回に引き続き、教団問題における北海道教区の動き。今回は、1978(昭和53)年、大谷光暢本願寺住職の本願寺独立声明に対し表明された、北海道教学研究所の見解について。

「中道」誌に、曾我量深の講義録「宿縁と宿善」掲載される(「特殊部落」の記載がある)<sup>2</sup>。1984(昭和59)年8月同会の会より内局に董理院董理差別発言事件問題提起、同時に元教学担当参務差別発言事件も提起<sup>3</sup>。一連の事件から、宗門は「同和」運動の推進は同朋教団のい

て、2回目の回答書を部落解放同盟に提出した当事者の差別発言事件であることから、きわめて重大な問題が提起された。そのことから「真宗大谷派は、これまでに教団内における数多くの差別事件を契機として、部落解放同盟による糾弾を受けてきた。十数回にもわたる糾弾会によって、ようやく教団内部に部落差別問題への関心が一定の広がりをもってきたと言える。しかし、その一方でいくつもの差別事件が相次いで起こってきた。そのことは、われわれの取り組みが今なお教団の差別体質を払拭し切る大きな力をもち得ていない事実を如実に示している。」<sup>1</sup>そしてこの事件は、「難波



「大成寺若院得度記念 真宗本願団体参拝」として17名にて上山して参りました。

17名

### 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 お待ち受け総上山

▼一日参拝 7月▲

7/7

第4組大成寺

## 真宗同朋会運動50年に向けて

その検証 歩み(十)

### 大谷派における差別事件 (1)

教化本部 古卿 誠幸

御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」  
 教区御遠忌テーマ「あなたは、与えられたいのちとどう向き合う？」

# 教化本部通信

【第60回】

真宗門徒の生活 朝夕におつとめをしましょう・声にだしてお念仏を申しましょ  
 を回復しよう すずんでお寺の法座に身を運びましょ・報恩講を大切にお迎えましょ

しんらんweb 検索

真宗同朋会運動50年に向けた運動の再検証。今号より、大谷派における差別事件・差別事象について、特に訓覇信雄元宗務総長の差別発言事件について検証する。

また「点描」は、前回に引き続き、教団問題における北海道教区の動き。今回は、1978(昭和53)年、大谷光暢本願寺住職の本願寺独立声明に対し表明された、北海道教学研究所の見解について。

1967(昭和42)年、難波別院輪番差別事件に端を発し惹起せられた差別問題について、1990(平成2)年から1996(平成8)年まで教学研究所有長を務められた児玉暁洋師は、1994(平成6)年発行『教化研究』11・112号巻頭論文に、「大谷派教団が部落差別問題に関わる基本的態度は1969(昭和44)年10月の難波別院輪番差別事件に就ての部落解放同盟に対する第2回回答書に殆んど言い尽されていると言えよう。問題はそれが着実に実行されないとある」と述べている。

「部落問題学習資料集」の巻末にある「年表」によると、第2回回答書が提出された後、1970(昭和45)年10月、別院輪番差別事件とその糾弾を契機として歩んできた教団の「同和」運動の基底にかかわる重大な事件と受け止めねばならない。(中略)20年間のうちに惹起、露呈してきたさまざまな差別事件・差別事象が全推協叢書『同朋社会の顕現』、差別事件の背景にあるのであり、これらの事件・事象が問い糾され、そのつど教団が確かめた内容が教団全体に周知徹底されなかつたこととあらわれにほかならない。」さらにその原因として「差別事件を当事者のみの問題として矮小化し、一過的にとらえ、いたずらに当事者を弁護するような迷妄におちいるということである。しかし、差別事件は、だれもが日常的意識のうちには無自覚に抱え込んでいる差別意識が表出したものにほかならず、だれも事件が提起している課題から逃れることはできないことを自覚すべきである」と披瀝している。

(2)『部落差別学習資料集』

資料17「宿縁と宿善」参照

(3)『部落差別学習資料集』

資料22「同和問題に問われる教団」と同朋会運動」参照

(4)『真宗』1985(昭和60)年3月号参照

(5)『部落差別学習資料集』

資料23(全推協叢書『同和社會の顕現』)参照

(6)『部落差別学習資料集』

資料14(大谷派における差別事件・差別事象をめぐって)

(1)『部落差別学習資料集』

資料14「同和問題に取り組む教団の姿勢」参照